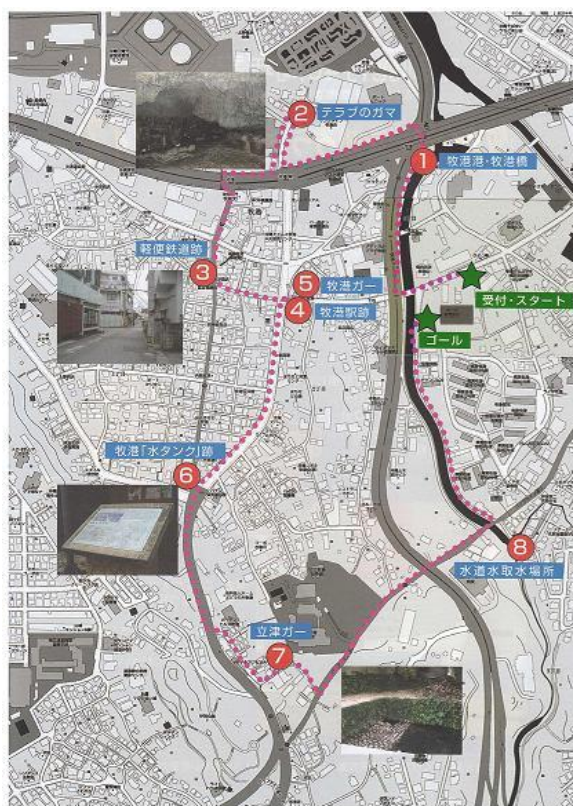


第3回川まつり～ウォーク&クイズ～

平成 22 年 11 月 21 日（日）「第 3 回 川まつり」の一環として、「牧港の歴史を知ろう、ウォーク&クイズ」が行われました。

朝 9 時半に出発して約 2 時間半、牧港かいわいの史跡を巡りながら「暮らしと水」についても学んでいただきました。

↓ 実際歩いたコースです。



★ 受付、スタート：沖電企業(株) 駐車場

① 牧港港・牧港橋

1372 年に創建が明に開港して以来、牧港港は中瀬、大和、東南アジア等との貿易港として重要な位置を占めたが、後年は大型船が停泊できる距離に国際貿易の拠点に移った。牧港橋は中瀬・国際方面へ向かう街道の要所として、産業・経済・文化を支えた。

② テラブのガマ

源 為朝と大里按司の妹との間に生れた尊政(後の興天)が、母とともに為朝の帰りを待ちわびていたといわれている洞窟。

③ 軽便鉄道跡

大正 11 年 3 月に開通した真手幹線(約 23.6 キロ)の、城間駅から牧港駅に至る一部分。鉄道跡としての名残はないが、ここを鉄道が通っていた。

④ 牧港駅跡

ここも上記同様痕跡はないが、無人駅があった。

⑤ 牧港ガー

牧港集落東側に位置する村ガー・産ガーだった。1960 年代まで簡易水道に利用されていた。

⑥ 牧港「水タンク」跡

立津ガーから水を引いてタンクに溜め、パイプで 50 メートルおきに水道の蛇口を設け、パケツで各家庭に運んだ。

⑦ 立津ガー

昔から水が豊富に湧き出ていて、牧港一帯の田畑の水源として利用された。戦後は牧港水タンクまで水を引いて活用された。

⑧ 水道水取水場所

戦後は那覇の屋敷水源地の水源の一つとして、牧港川のこの少し上流からも取水されていた。水源は、滝添と宜野湾あたりに「青小龍」「あらなぎ川」「一つ川」「後原川」「牧港川」と、5 つあった。

★ ゴール：川まつり本部



出典：昭和 58 年発行「熊本市水道 50 年史」



スタート コープ牧港前



コープ牧港前



牧港テラブのガマ



牧港テラブのガマの中



牧港ガー



立津ガー



ゴール コープ牧港前

